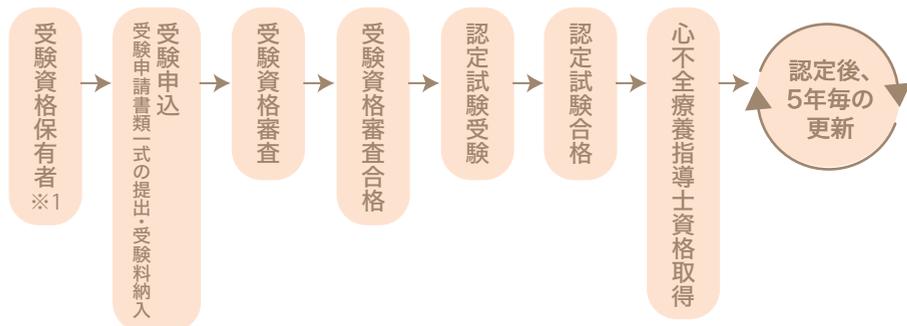


心不全療養指導士 資格取得までの流れ



※1 下記受験資格にて定められた資格

受験資格

①～⑥の全てをみたすものに限る。

①日本循環器学会正会員または準会員であり、年会費を納めていること

②以下のいずれかの資格を有すること

看護師、保健師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、管理栄養士、公認心理師、社会福祉士、歯科衛生士

*上記以外の職種も、学会への申請により承認された場合は受験資格を与える

③受験時に心不全療養指導に従事していること

④症例報告5例を不備なく記載し提出していること

⑤指定のe-ラーニングを受講し、修了証を取得していること（受講料5,000円）

⑥申請書類を不備なく記載・提出し、受験料を納めていること（受験料15,000円）

心不全療養指導士 認定試験事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
(日本循環器学会事務局内)

詳細、最新情報については適時WEBサイトに更新



一般社団法人
日本循環器学会

2021年春
認定制度
スタート!



病院・地域・在宅における心不全療養指導のProfessional

心不全療養指導士

対象職種



看護師／保健師 薬剤師 理学療法士 作業療法士
臨床工学技士 管理栄養士 公認心理師 社会福祉士
歯科衛生士 その他学会の推薦を受けた者



一般社団法人
日本循環器学会

心不全療養指導士とは

日本循環器学会では2021年度より「心不全療養指導士」認定制度を開始します。この制度は、超高齢社会を迎え心不全患者が急増している現状をふまえ、心不全の発症・重症化の予防のための療養指導に従事する医療専門職に必要な基本的知識および技能など資質の向上を図るために創設されました。

数多くの医療専門職の方に「心不全療養指導士」資格を取得していただき、様々な場面で幅広く活動していただくことで、心不全の抑制や改善が図られ、わが国における質の高い心不全医療の推進、さらには国民全体の医療・福祉の向上に貢献していただくことが期待されます。

心不全療養指導士の役割とその指導内容

心不全療養指導士の役割

- ①心不全の発症・進展の予防の重要性を理解し、その予防や啓発のための活動に参画することができる
- ②心不全の概念や病態、検査、治療について理解し、それをもとに病状などを把握することができる
- ③心不全の進展ステージに応じた予防・治療を理解し、基本的かつ包括的な療養指導を実施することができる
- ④医療機関あるいは地域での心不全に対する診療において、医師や他の医療専門職と円滑に連携し、チーム医療の推進に貢献することができる
- ⑤心不全患者に対する意思決定支援と緩和ケアに関する基本的知識を有している

心不全療養指導士の指導内容



資格取得後の活動について



- 外来 -

心不全症状、徴候をアセスメントする
療養行動をモニタリングし、必要な指導を実施
心不全発症や増悪を予防するために、医療専門職で病状などの情報を共有

- 病棟 -

心不全発症や増悪の誘因をアセスメントする
患者に必要な療養指導を実施
必要時に応じて多職種や地域連携窓口と相談

- 地域 -

心不全症状、徴候をアセスメントする
地域生活における心不全発症や増悪の誘因をアセスメントする
療養に必要な指導を行い、サービスを調整
病院と在宅との医療専門職で病状などの情報を共有

- 在宅 -

心不全症状、徴候をアセスメントする
生活の場で療養行動の実際をモニタリングし、必要な指導を実施
心不全発症や増悪を予防するために、医療専門職で病状などの情報を共有

